

せと し みん み
瀬戸市民「見に行ったことがある」

ぶんか いざん
文化遺産 **№1 定光寺**

なご やしやう
名古屋城からの殿様街道

江戸時代ははじめのころ、初代尾張藩主の徳川義直は狩りが大好きでした。でもそれは領内の視察もかねていました。瀬戸の水野村には何回も行き、そのための別荘もつくったくらいです。ある日、狩りの途中に定光寺をおとずれたところ、山中にあるお寺のたたずまいがすっかり気に入って、自分が死んだらお墓をここにするように家臣に命じました。義直が亡くなって、定光寺にお墓がつくれます(源敬公廟)。このお墓は、義直が好んでいた儒教様式のみずらしい建物で、今は国の重要文化財に指定されています。



げんけいこう ぼからん
▲源敬公墓唐門



しょうこう でんしきがわら
▲焼香殿敷瓦



じょうこう じ
定光寺



じょうこう じ ほんどう
▲定光寺本堂



しんりん こう えん
森林公園

とう こう じ
東光寺

いしざか どうげ
石坂峠

との さま かい どう
殿様街道



との さま かい どう
▲殿様街道

りょうふく じ
良福寺

おお くす
大楠

あら いちやう
新居町

いし
つんぼ石

だいしん じ
大森寺

せ と かい どう
瀬戸街道

おお ぞね
大曾根

ぜん こう じ かい どう
善光寺街道

だい かんちやう
代官町



なご やしやう
名古屋城



みずの だい かんしよ あとせきひ
▲水野代官所跡石碑

義直が亡くなった後からは、名古屋の殿様はお墓参りに定光寺まで行くことになりました。殿様街道はこのために整備された街道です。名古屋城から定光寺までは約6里(24km)のみちのりです。殿様の行列が通るときは街道はちりひとつないよう掃き清められました。

定光寺への入り口である水野には、尾張藩の山林を管理する御林方奉行所や代官所がおかれまして。代官所は年貢の取り立てや百姓たちに命令を出す仕事をする尾張藩の役所で、水野代官所は瀬戸周辺だけでなく春日井や名古屋の東側まで担当する役所でした。水野の人々は「山の中でも水野は城下、地方(代官所)、山方(御林方奉行所)両役所」といって誇りとしています。